

第4章 再生 —地域別アプローチ—

- 1 施設配置の考え方
- 2 地域別アプローチ

第4章 再生—地域別アプローチ—

1 施設配置の考え方

第4章では、公共施設の再生を考える上で、地域別に施設と機能のあり方を考えます。

ここでは、第3章における機能別アプローチにおける施設再生事業を、具体的に地域に展開した場合、時系列的にどのような施設の再配置が実現していくのかを確認することができます。

その際、地域での生活を重ね合わせ、自らが利用していない施設にも目を向け、自分とは異なる立場の人の身になって、地域と公共施設の関係を見つめ、まちづくりにおける公共施設の役割とは何か、公共施設が周辺まちづくりにおいて、もたらす効果は何かを、考えてみるのが大切です。

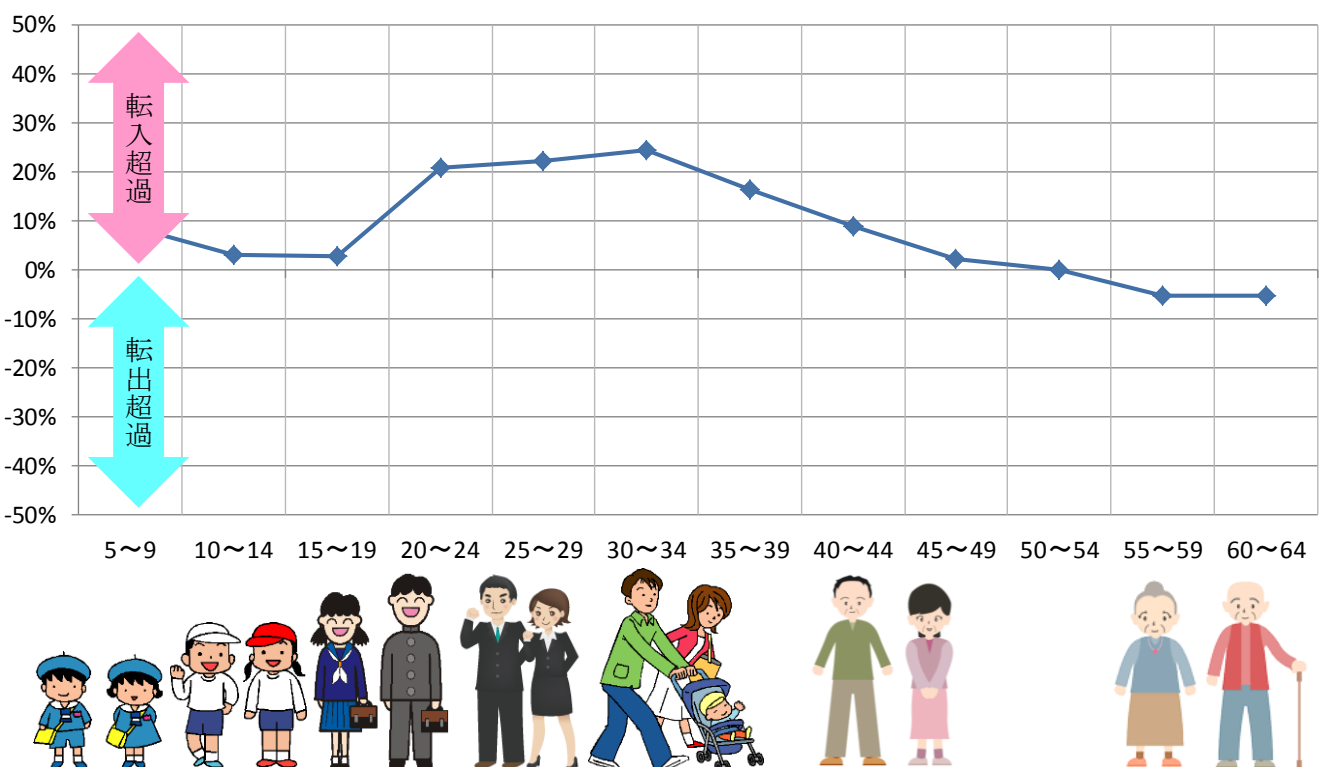
公共施設を複合化したら、確かに遠くなる人もいれば、近くなる人もいます。しかし、魅力的な空間であれば、足を運ぶのも苦にならないかもしれません。複合施設であれば、一か所で複数の用事を済ますことも可能となり、シニア世代と幼児世代と一緒に足を運べるかもしれません。多くの人が交流する施設は、コミュニティの活性化に役立つでしょう。

このように、習志野市のコンパクトな市域の特性を活かしつつ、単に自宅と施設との距離だけを考えるのではなく、街中での生活動線と併せて考えることが重要です。

第1章で説明しているように、人口減少社会のもとで、少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少する時代、経済成長が期待できない時代における公共施設のあり方を、私たちの世代のことだけでなく、将来世代のことも考えながら、公共施設の再生に取り組んでいかななくてはなりません。

1. 人口の動き

第4章の地域別アプローチの冒頭には、平成20年9月時点の人口と、平成25年9月の人口を、各地区及び年齢階層別に比較したグラフを示しています。このグラフは、5年間の間に、転入してきた人数と、転出していった人数を加除し、プラスであれば、その間の転入及び自然増が上回り、マイナスであれば転出及び自然減が上回ったこととなります。転入が大きい年齢層を中心に、かつエリアを細分化して分析することで、グラフ上のその地区の特徴と、生活の実感に基づく地域特性が一致することがわかります。



2 地域別アプローチ

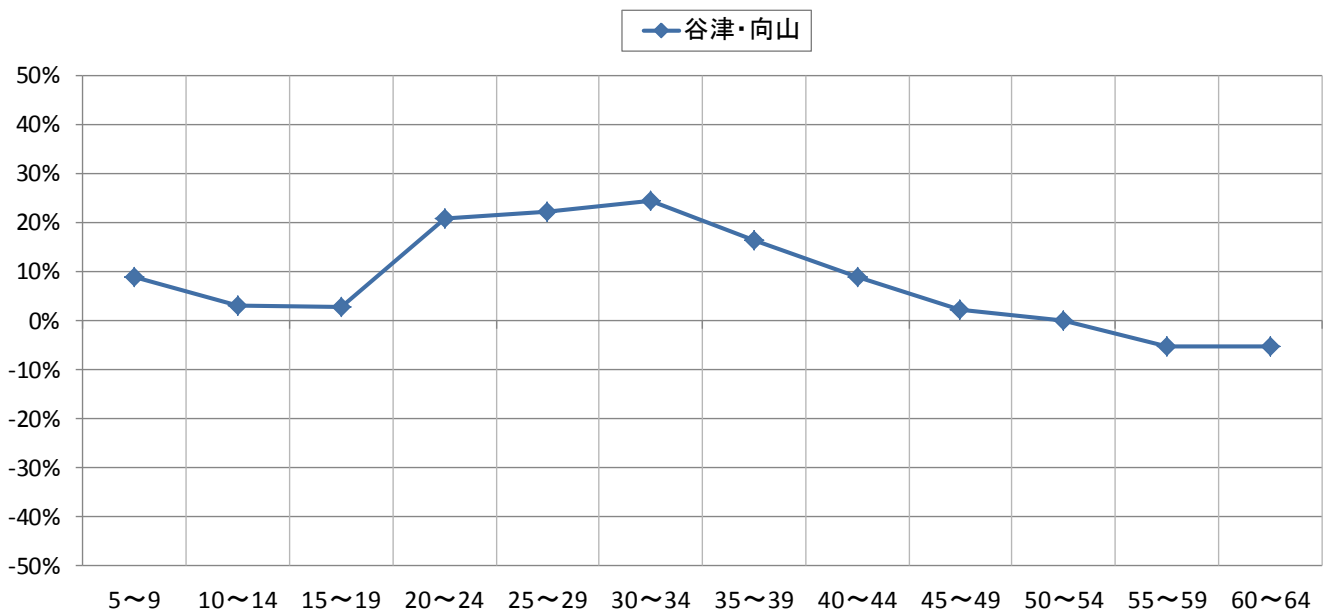
A. 谷津、向山

（1）人口の動き

20代及び30代が20%以上増加し、9歳以下の子どもの伸び率が10%であることから、夫婦二人に子ども一人の家族の転入が増加していると考えられます。市内で最も20代及び30代の転入が増加している地域です。

（歳）

	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64
谷津・向山	8.9%	3.1%	2.7%	20.8%	22.2%	24.5%	16.5%	8.9%	2.3%	-0.1%	-5.1%	-5.2%



（歳）

（2）再生計画

第1期は、谷津小学校の建替が計画進捗の中心になります。隣接する幼稚園の今後の方向性については、小学校の建替と一体的に検討しますが、中長期的には谷津小学校の児童数の推移により、こども園化を図ります。

習志野文化ホールの「市有化」が検討されています。習志野文化ホールは、ショッピングセンターとの複合施設となっており、公益財団法人習志野文化ホールが所有、運営を行っています。習志野市だけでなく、葛南エリアの文化の殿堂として、親しまれており、多くの興行が実施されています。活動を支えるために、習志野市から補助金によって支援をしてきましたが、大規模改修が必要な時期が迫っています。

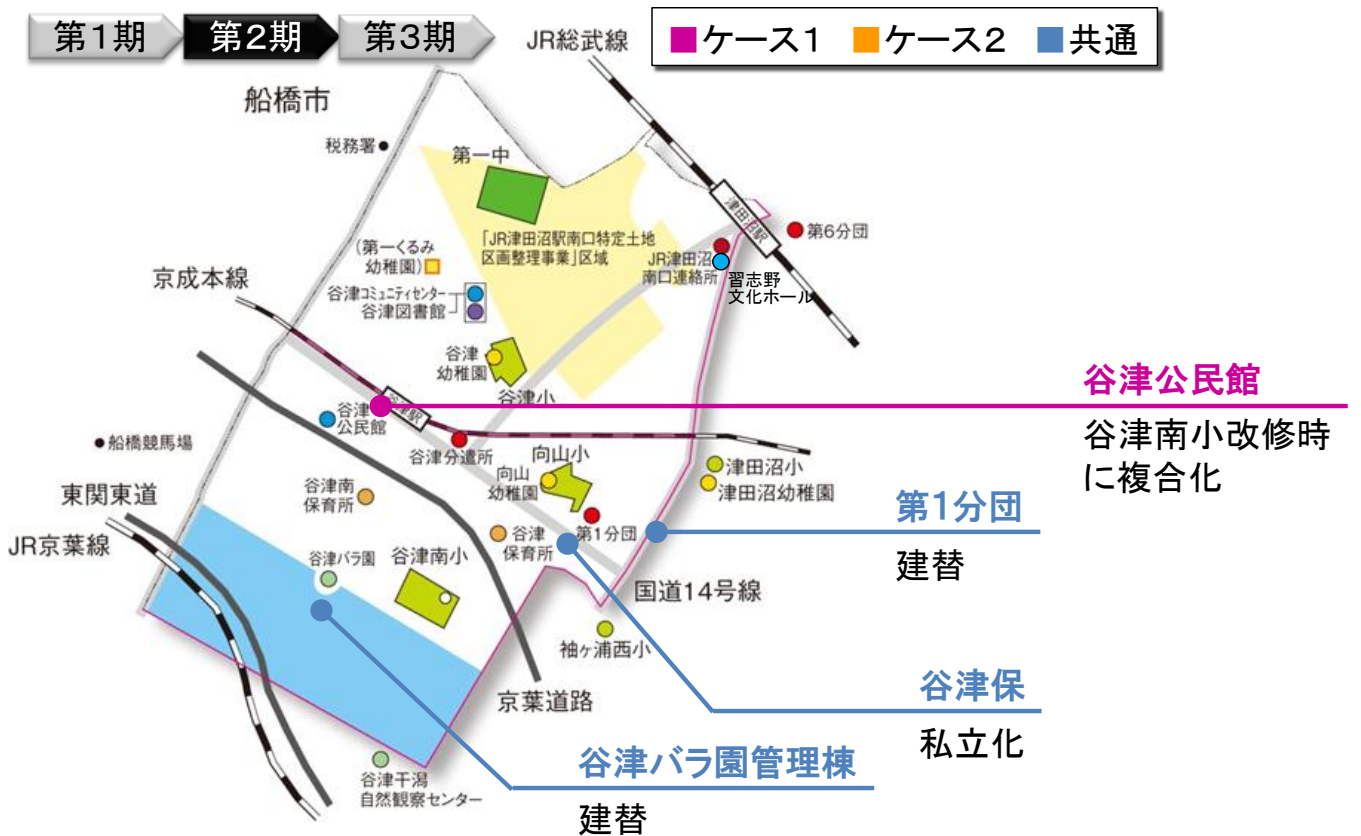
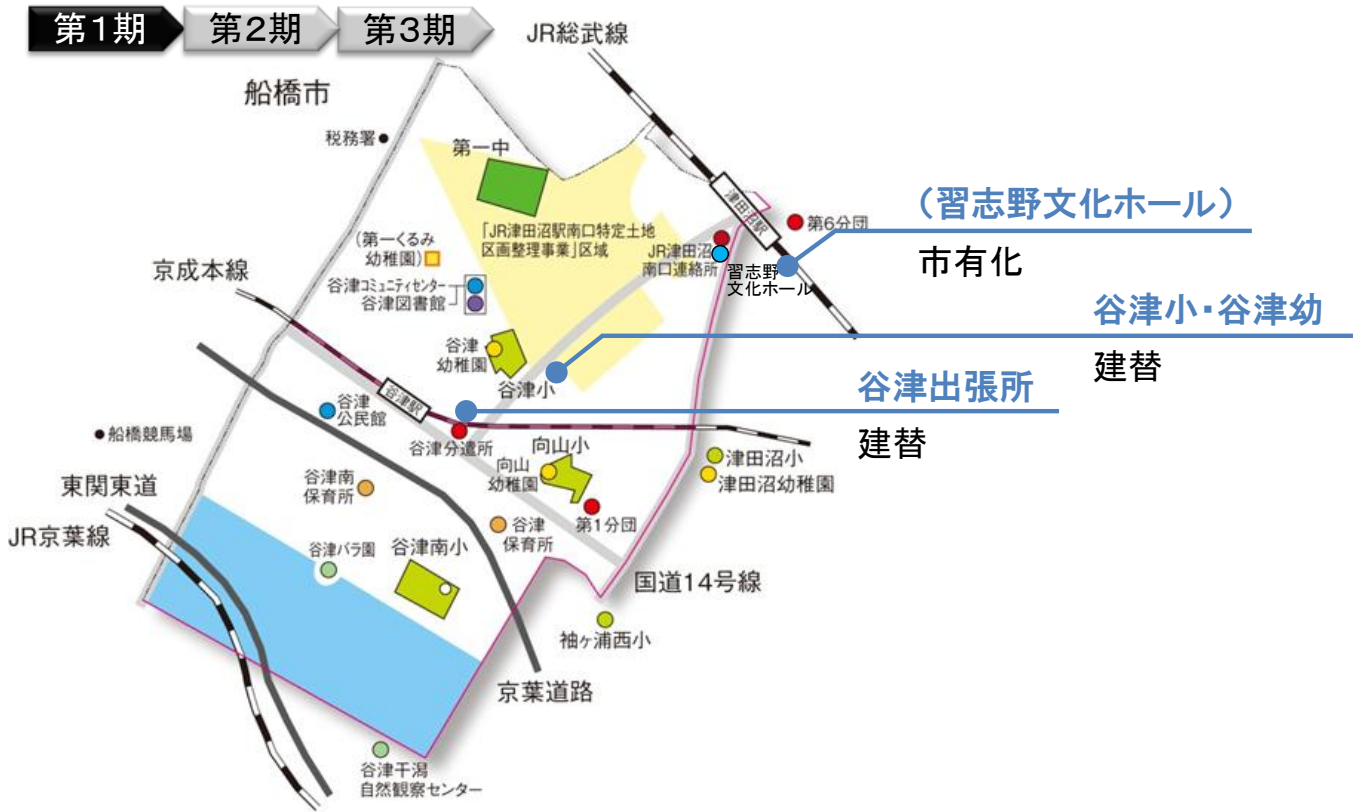
中央消防署谷津出張所¹は、京成線の南側に位置していますが、奏の杜地区への移転が予定されています。

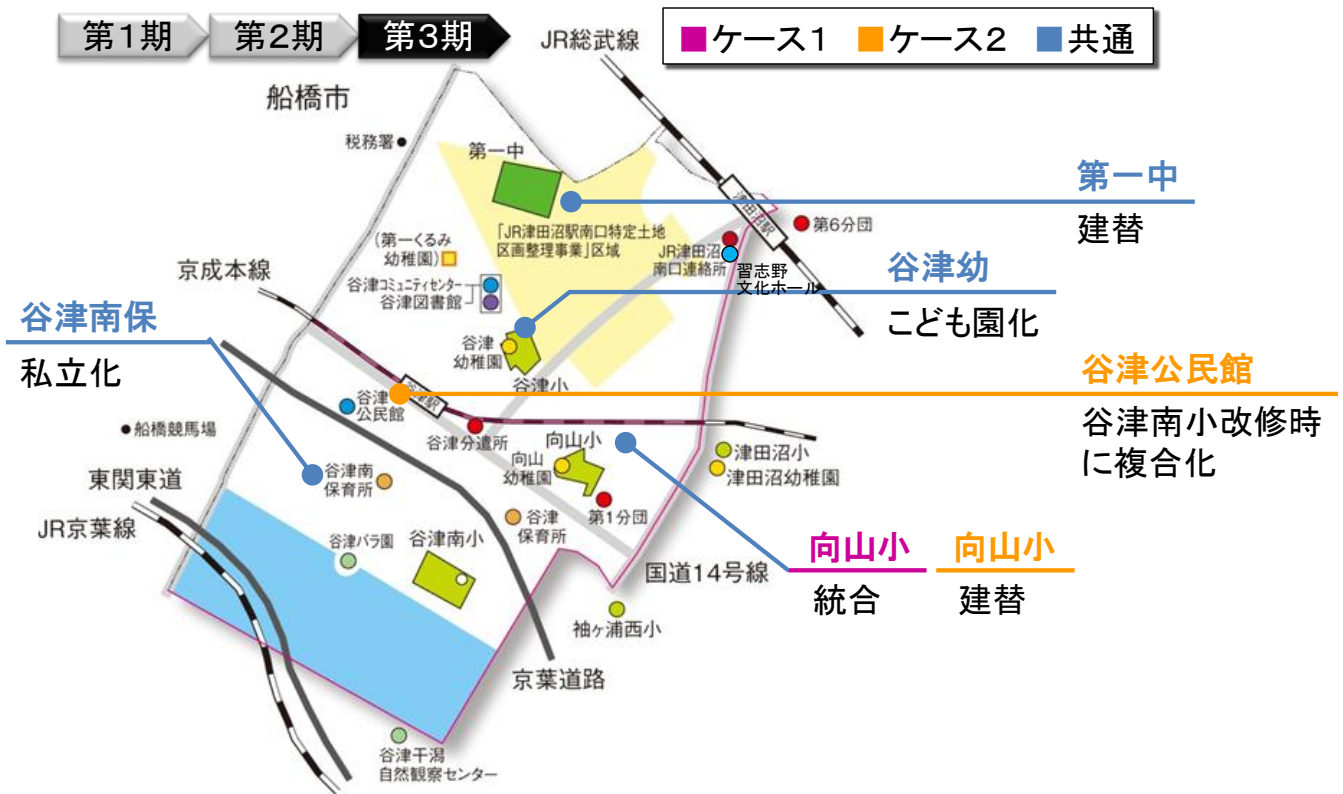
谷津公民館は、谷津南小学校の改修時に複合化します。

ケース1			前期基本計画期間 公共施設再生計画【第1期】					後期基本計画期間 公共施設再生計画【第2期】					公共施設再生計画【第3期】															
地区	施設名	種類	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	
			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	
谷津/向山	谷津出張所	消防施設																										
	習志野文化ホール	ホール																										
	谷津干潟自然観察センター	公園施設																										
	習志野緑地管理棟	公園施設																										
	谷津バラ園管理棟	公園施設																										
	第1分団	消防施設																										
	谷津小	小学校																										
	谷津幼	幼稚園																										
	向山小	小学校																										
	向山幼	幼稚園																										
	谷津南小	小学校																										
	谷津公民館	公民館																										
	第一中	中学校																										
	谷津保	保育所																										
	谷津南保	保育所																										
谷津CC	生涯学習施設																											
谷津図書館	図書館																											

ケース2			前期基本計画期間 公共施設再生計画【第1期】					後期基本計画期間 公共施設再生計画【第2期】					公共施設再生計画【第3期】															
地区	施設名	種類	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	
			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	
谷津/向山	谷津出張所	消防施設																										
	習志野文化ホール	ホール																										
	谷津干潟自然観察センター	公園施設																										
	習志野緑地管理棟	公園施設																										
	谷津バラ園管理棟	公園施設																										
	第1分団	消防施設																										
	谷津小	小学校																										
	谷津幼	幼稚園																										
	向山小	小学校																										
	向山幼	幼稚園																										
	谷津南小	小学校																										
	谷津公民館	公民館																										
	第一中	中学校																										
	谷津保	保育所																										
	谷津南保	保育所																										
谷津CC	生涯学習施設																											
谷津図書館	図書館																											

¹ 旧・谷津分遣所





Pickup

谷津南小改修と公民館複合化

谷津南小の大規模改修が、第2期もしくは第3期に予定されています。それに合わせて谷津公民館の複合化を予定しています。

谷津南小の児童数は1993(平成5)年でピークアウトしており、現在はピーク時の1/2以下となっていることから、スペースにも余裕があります。建物配置は、各棟が渡り廊下で接続されており、門も2か所あるため動線を分離しやすく、学校の安全も確保しやすいため、谷津公民館の複合化に適しています。「学校複合化4原則」(第3章参照)に則って、周辺地域の価値を高める複合化を進めます。

※谷津分遣所は平成26年4月より谷津出張所



B. 藤崎、津田沼、鷺沼・鷺沼台

（1）人口の動き

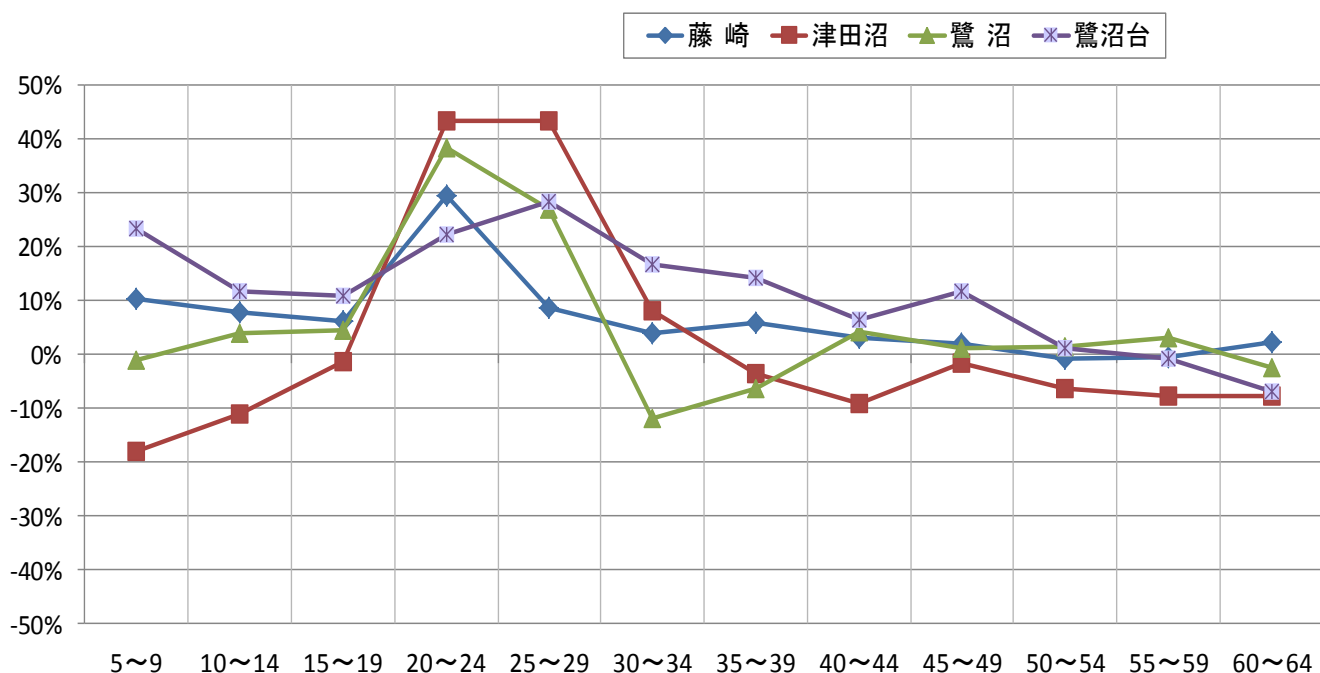
5～9歳の増減を見ると、20%以上増加している鷺沼台、10%増加している藤崎、ほぼ横ばいの鷺沼、18%減の津田沼と地域によって傾向が異なります。増加傾向にある鷺沼台と藤崎は、市街地調整区域があり、それに対してミニ開発が進んでおり、戸建が増加しています。それに従い、小学校児童数も増加傾向にあります。

20～24歳、25～29歳にも各地区の特徴が表れています。すべての地区において20代は増加していますが、藤崎は20代前半の増加が顕著で25歳以上の転入増は8.7%に落ち着いていきます。これに対して津田沼は、20代前半だけでなく、後半の転入増も大きくなっています。

鷺沼も20代前半後半ともに増加しますが、30代前半は11.9%の減少が見られます。これに対し、鷺沼台は30代にも15%前後の転入増が見られ、多様な世代の転入が推測されます。また9歳以下の増加が23.3%、10代の増加も10%を上回ることから、子ども部屋等の需要により、広い住宅を求める層が転入してきていることが推測できます。

(歳)

	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64
藤崎	10.3%	7.9%	6.1%	29.4%	8.7%	3.9%	5.8%	3.2%	1.9%	-0.9%	-0.4%	2.4%
津田沼	-18.0%	-11.1%	-1.4%	43.4%	43.4%	8.0%	-3.6%	-9.3%	-1.6%	-6.3%	-7.7%	-7.9%
鷺沼	-1.2%	3.9%	4.5%	38.5%	27.0%	-11.9%	-6.3%	4.1%	1.1%	1.4%	3.2%	-2.5%
鷺沼台	23.3%	11.7%	10.9%	22.3%	28.4%	16.7%	14.1%	6.5%	11.7%	1.0%	-0.7%	-6.9%



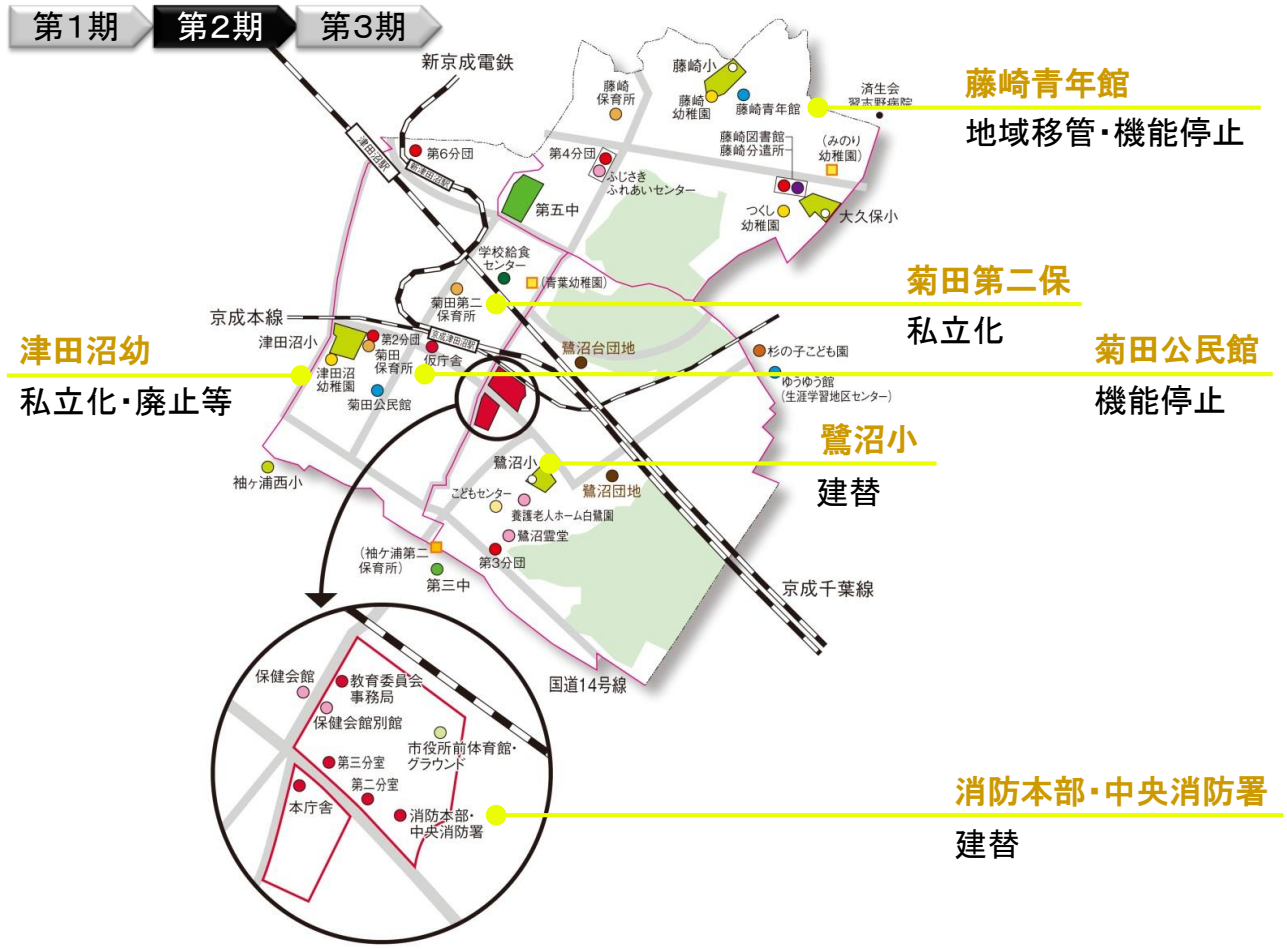
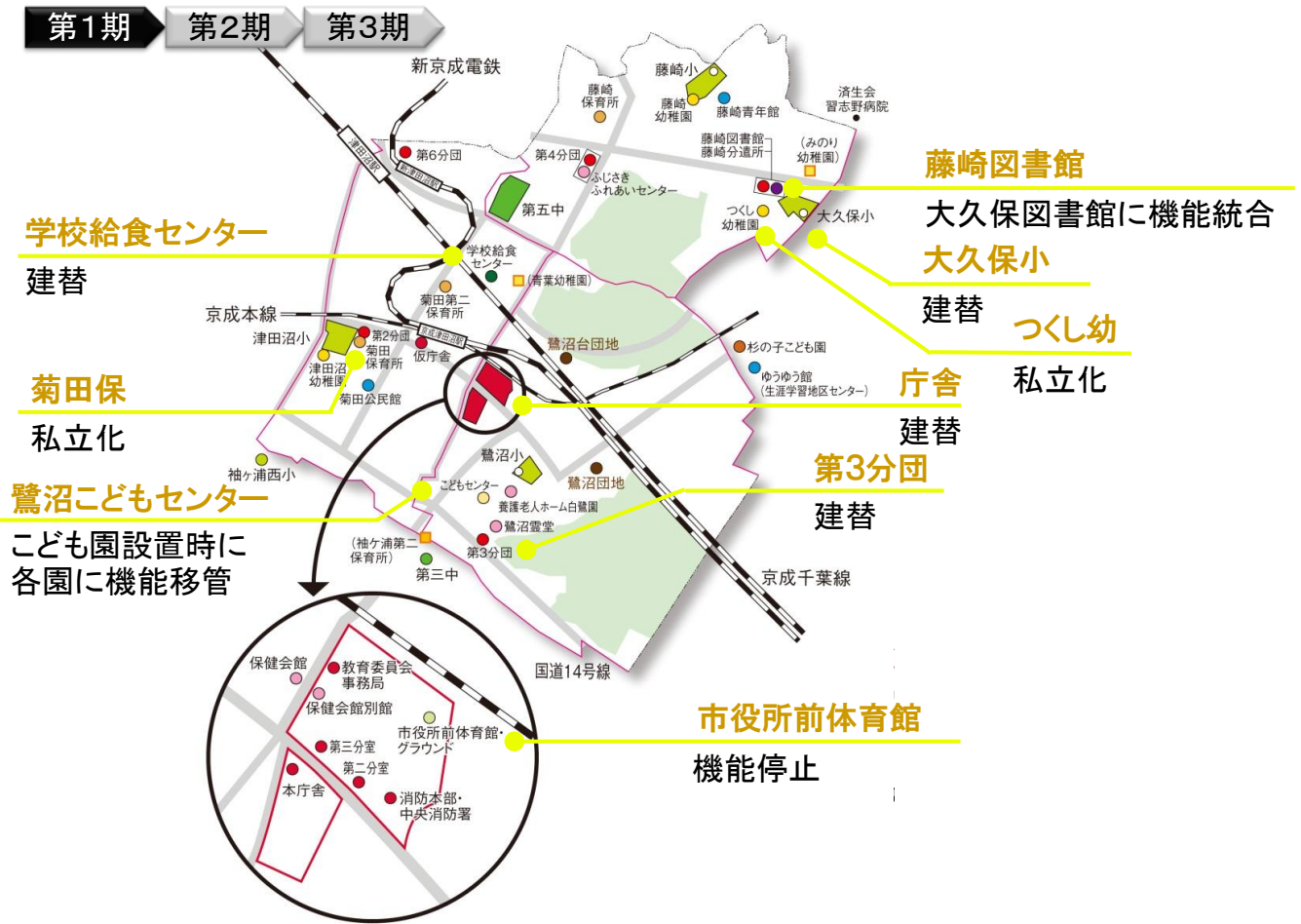
(歳)

（2）再生計画

第1期に施設更新を行う学校給食センターは老朽化が進んでおり、建替が必要となっています。小中学校の学校給食は、全校自校調理を目指しているため、校舎の建替にあわせて調理室を設置していくことから、センターの一日当たりの取扱食数は減少していくと予測しています。

菊田保育所は、谷津第二保育園として近隣に私立化し、現・菊田保育所跡地に民間認可保育園を誘致します。鷺沼こどもセンターは、当面現状の施設を利用し、今後のこども園の整備状況に合わせて施設のあり方を検討します。藤崎青年館は、耐震補強工事は行いましたが、老朽化対策は行っていません。これまで、他地区に存在していた青年館と同様に地域移管か、機能停止を行います。藤崎幼稚園及び藤崎保育所は機能統合し、こども園化します。鷺沼霊堂は、第3期に建替時期を迎えますが、長寿命化を優先的に検討します。

ケース1			前期基本計画期間 公共施設再生計画【第1期】									後期基本計画期間 公共施設再生計画【第2期】					公共施設再生計画【第3期】													
地区	施設名	種類	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038			
			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50			
藤崎／津田沼／鷺沼・鷺沼台	庁舎	庁舎	建設												改修															
	中央消防署	消防施設	建替																											
	保健会館	保健福祉施設	改修																											
	藤崎出張所	消防施設													改修															
	学校給食センター	その他教育施設	建替												改修															
	白鷺園	保健福祉施設													改修															
	鷺沼霊堂	保健福祉施設													改修															
	第2分団	消防施設													改修															
	第3分団	消防施設	建替												改修															
	第4分団	消防施設													改修															
	第6分団	消防施設													改修															
	津田沼小	小学校													改修															
	津田沼幼	幼稚園													★（第2期以降に実施）															
	大久保小	小学校	建替																											
	鷺沼小	小学校													建替															
	藤崎小	小学校													改修															
	藤崎幼	幼稚園	改修												建替 複合化															
	藤崎保	保育所													私立化(第2期以降に実施)															
	第五中	中学校													改修															
	つくし幼	幼稚園	私立化																											
	菊田保	保育所	私立化																											
	菊田第二保	保育所													私立化(第2期以降に実施)															
	鷺沼こどもセンター	子育て支援施設	各こども園の整備状況に合わせて検討																											
	菊田公民館	公民館	機能停止																											
	藤崎青年館	青少年施設	機能移管・機能停止																											
	鷺沼団地	市営住宅	改修																											
鷺沼台団地	市営住宅	改修																												
ケース2			前期基本計画期間 公共施設再生計画【第1期】									後期基本計画期間 公共施設再生計画【第2期】					公共施設再生計画【第3期】													
地区	施設名	種類	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038			
			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50			
藤崎／津田沼／鷺沼・鷺沼台	庁舎	庁舎	建設												改修															
	中央消防署	消防施設	建替																											
	保健会館	保健福祉施設	改修																											
	藤崎出張所	消防施設													改修															
	学校給食センター	その他教育施設	建替												改修															
	白鷺園	保健福祉施設													改修															
	鷺沼霊堂	保健福祉施設													改修															
	第2分団	消防施設													改修															
	第3分団	消防施設	建替												改修															
	第4分団	消防施設													改修															
	第6分団	消防施設													改修															
	津田沼小	小学校													改修															
	津田沼幼	幼稚園													★（第2期以降に実施）															
	大久保小	小学校	建替																											
	鷺沼小	小学校													建替															
	藤崎小	小学校													改修															
	藤崎幼	幼稚園	改修												建替 複合化															
	藤崎保	保育所													私立化(第2期以降に実施)															
	第五中	中学校													改修															
	つくし幼	幼稚園	私立化																											
	菊田保	保育所	私立化																											
	菊田第二保	保育所													私立化(第2期以降に実施)															
	鷺沼こどもセンター	子育て支援施設	各こども園の整備状況に合わせて検討																											
	菊田公民館	公民館	機能停止																											
	藤崎青年館	青少年施設	機能移管・機能停止																											
	鷺沼団地	市営住宅	改修																											
鷺沼台団地	市営住宅	改修																												





C. 大久保・泉・本大久保・花咲・屋敷

（1）人口の動き

大久保、本大久保は類似した線形となっています。特に20～24歳の増加、25～29歳の減少という線形はほぼ平行となっており、同様の推移となっています。大久保地区は、日本大学生産工学部や東邦大学等が立地しており、大学生の影響と思われます。大久保あるいは本大久保に在住していた大学生が、卒業後に地区から転居することが多いと推測されます。

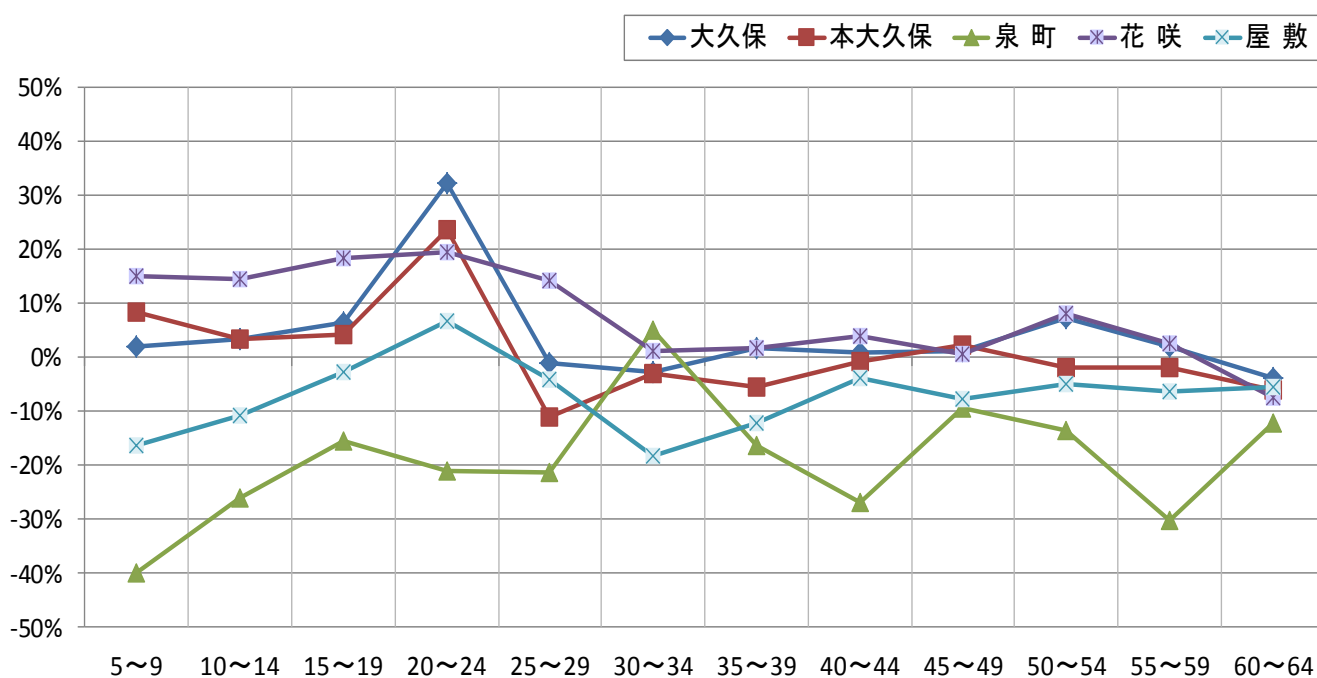
泉町は30～34歳以外は全区分とも減少傾向にあります。原因としては、公務員住宅が多い地域となっているため、特定の年齢層のみが増加し、かつ、それらの整理縮小が進む中で減少傾向が表れていると考えられます。

花咲は、9歳以下、10代、20代において増加傾向にあります。同様の傾向は隣接する鷺沼台にも表れており、住宅を購入する世代が、幕張本郷駅を通勤通学等の起点とし、子ども部屋等の需要に伴い、広い住宅を求めて転入しているということが推測できます。

屋敷は20代前半以外で減少傾向にあり、特に30代の転出が目立ちます。

(歳)

	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64
大久保	1.9%	3.4%	6.4%	32.3%	-1.1%	-2.7%	1.6%	0.8%	1.0%	7.1%	2.0%	-3.9%
本大久保	8.3%	3.3%	4.3%	23.6%	-11.1%	-3.1%	-5.6%	-0.7%	2.2%	-1.9%	-2.0%	-6.0%
泉町	-39.9%	-26.0%	-15.5%	-21.1%	-21.3%	4.9%	-16.5%	-27.1%	-9.4%	-13.5%	-30.3%	-12.2%
花咲	15.0%	14.6%	18.4%	19.3%	14.1%	1.1%	1.6%	4.0%	0.6%	8.1%	2.5%	-7.6%
屋敷	-16.3%	-10.9%	-2.7%	6.7%	-4.2%	-18.4%	-12.3%	-3.9%	-7.7%	-4.9%	-6.3%	-5.4%



(歳)

（2）再生計画

「大久保地区公共施設再生」の取組として、大久保公民館・市民会館、勤労会館、大久保図書館の施設更新、並びに、生涯学習センターゆうゆう館、あづまこども会館、屋敷公民館、藤崎図書館の機能統合を行います。中央公園と一体となった整備を行うことで、地域のエリアを高めるとともに、次世代に負担を残さない施設運営を目指す、第一歩となります。

大久保保育所は、新栄幼稚園の機能を統合し、一部建替を行い、こども園化を行います。大久保こども園は、第2期において、大久保東幼稚園舎に移転することも考えられることから、鉄骨造などの軽易な整備を行うこととします。

屋敷小学校と第六中学校は、隣接することから、施設の共用及び多機能化を検討し、効率的な施設の更新を行います。教育委員会による、小中一貫校の検討と歩調を合わせ、情報を共有していきます。

ケース1			前期基本計画期間 公共施設再生計画【第1期】									後期基本計画期間 公共施設再生計画【第2期】					公共施設再生計画【第3期】											
地区	施設名	種類	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	
			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	
大久保・泉・本大久保・花咲・屋敷	大久保公民館	公民館																										
	市民会館	ホール																									改修	
	生涯学習地区センター	生涯学習施設																										
	屋敷公民館	公民館																										
	大久保図書館	図書館																									改修	
	藤崎図書館	図書館																										
	勤労会館	勤労会館																									改修	
	あづまこども会館	青少年施設																										
	東部保健福祉センター	保健福祉施設																										改修
	第5分団	消防施設																										
	第8分団	消防施設																										
	大久保東小	小学校																										
	大久保東幼	幼稚園																										
	屋敷小	小学校																										★（第2期以降に実施）
	第六中	中学校																										★（第2期以降に実施）
	屋敷幼	幼稚園																										★（第2期以降に実施）
	大久保保	保育所																										改修
	新栄幼	幼稚園																										
	大久保第二保	保育所																										私立化（第2期以降に実施）
	本大久保保	保育所																										
本大久保第二保	保育所																										私立化	
杉の子こども園	こども園																										改修	
泉団地	市営住宅																											
屋敷団地	市営住宅																										改修	

ケース2			前期基本計画期間 公共施設再生計画【第1期】									後期基本計画期間 公共施設再生計画【第2期】					公共施設再生計画【第3期】											
地区	施設名	種類	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	
			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	
大久保・泉・本大久保・花咲・屋敷	大久保公民館	公民館																										
	市民会館	ホール																									改修	
	生涯学習地区センター	生涯学習施設																										
	屋敷公民館	公民館																										
	大久保図書館	図書館																									改修	
	藤崎図書館	図書館																										
	勤労会館	勤労会館																									改修	
	あづまこども会館	青少年施設																										
	東部保健福祉センター	保健福祉施設																										改修
	第8分団	消防施設																										
	大久保東小	小学校																										
	大久保東幼	幼稚園																										
	屋敷小	小学校																										★（第2期以降に実施）
	第六中	中学校																										★（第2期以降に実施）
	屋敷幼	幼稚園																										★（第2期以降に実施）
	大久保保	保育所																										改修
	新栄幼	幼稚園																										
	大久保第二保	保育所																										私立化（第2期以降に実施）
	本大久保保	保育所																										
	本大久保第二保	保育所																										私立化
杉の子こども園	こども園																										改修	
泉団地	市営住宅																											
屋敷団地	市営住宅																										改修	

第1期

第2期

第3期

■ ケース1 ■ ケース2 ■ 共通



**屋敷小・第六中
建替(小中併設)**

Pickup

中央公園を中心とする「大久保地区公共施設再生」

老朽化した大久保公民館・市民会館、大久保図書館、勤労会館を更新・再生し、中央公園と一体的に整備、運営することで、周辺のまちづくりと連携した地域の価値を高めるエリアづくりを推進します。周辺 1km 圏内に立地する、屋敷公民館、生涯学習地区センター・ゆうゆう館、藤崎図書館、あづまこども会館は、中央公園周辺に機能集約し、生涯学習や市民活動の拠点として、全市利用施設とします。

京成大久保駅から、多くの学生が向かう駅北側と反対の南側に視線を移すと、真っ先に大久保公民館・市民会館が目に入りますが、その奥にある眺望のよい中央公園の障壁になってしまっています。公共施設の再生がきっかけとなり、街中のオアシスとして、中央公園を中心に、このエリアの魅力が高まれば、多くの人が集まり、地域の価値が高まります。「大久保地区公共施設再生」の取組は、新しい習志野市のまちづくりへの第一歩です。



D. 実花、東習志野、実籾・新栄

（1）人口の動き

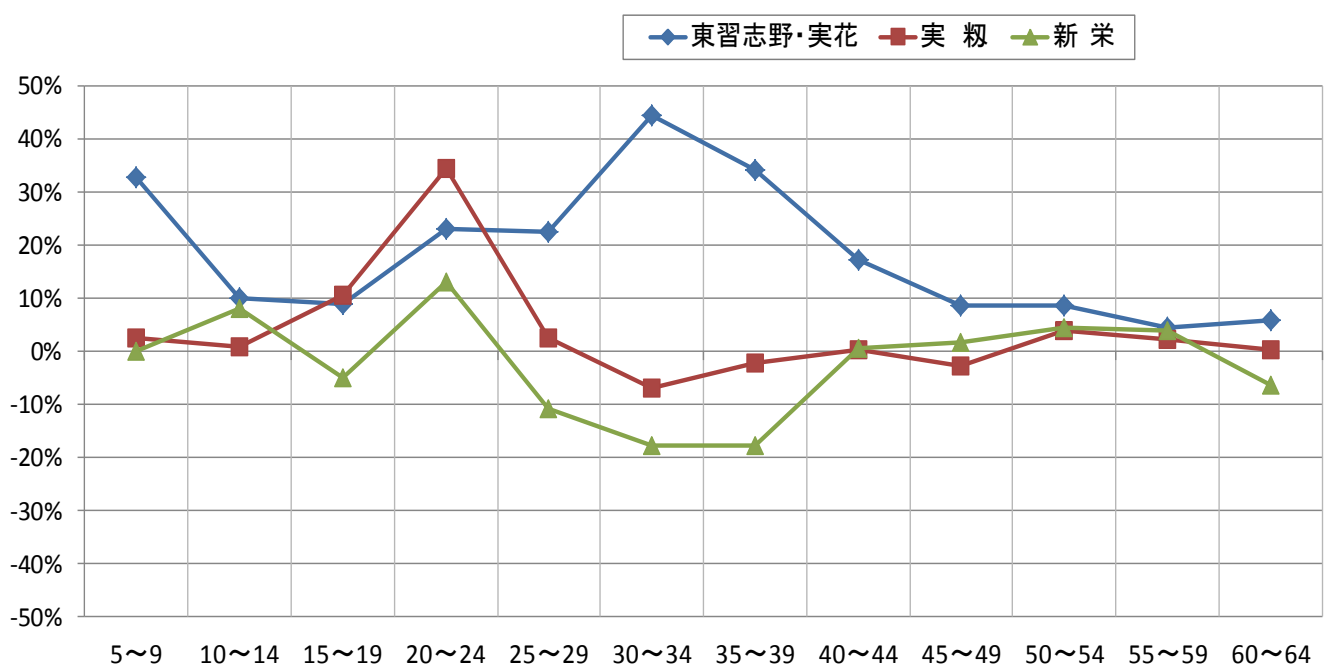
東習志野・実花は、マンション開発が行われており、30～34歳の親世代が40%以上の転入増加傾向を示し、その子とみられる5～9歳の区分が30%以上増加しています。

実籾は20代前半において、転入増加傾向が著しく、30代は減少傾向となっています。この傾向は、大久保、本大久保と類似した線形となっており、大学生の在学中のみの居住による影響があるものと思われます。

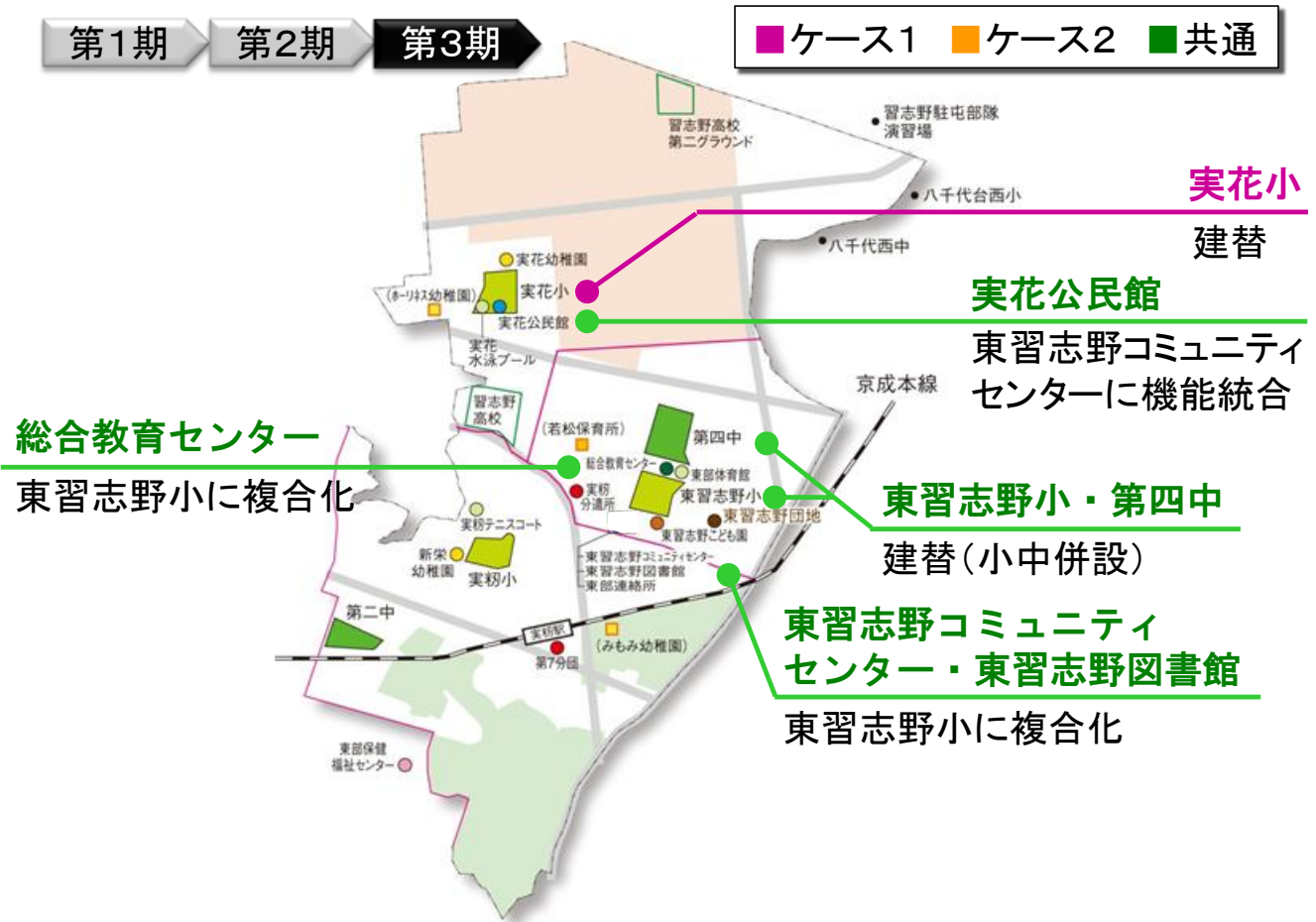
新栄は30代の減少が目立ちます。住宅購入を契機として、他地区への転居が推測されます。

（歳）

	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64
東習志野・実花	32.8%	10.0%	9.0%	23.0%	22.6%	44.5%	34.1%	17.2%	8.6%	8.6%	4.4%	6.0%
実籾	2.5%	0.8%	10.6%	34.5%	2.5%	-7.0%	-2.3%	0.3%	-2.7%	3.9%	2.2%	0.2%
新栄	0.0%	8.0%	-5.0%	13.2%	-10.8%	-17.7%	-17.8%	0.6%	1.7%	4.4%	3.8%	-6.5%



（歳）



Pickup

東習志野文教地区公共施設再生

東習志野小学校、第四中学校を中心とする文教ゾーン。他にも総合教育センター、東習志野こども園、東部体育館が集中しており、5分ほど歩いたところに、東習志野コミュニティセンター、東習志野図書館が立地しています。その他、習志野高等学校もこのエリアに立地しており、習志野市の教育研究拠点となっています。

東習志野小と四中の施設更新に合わせ、機能を統合するにあたって、どのように高度な教育環境の整備を実現していくかをみんなで話し合い、考えていきたいと思えます。当然、施設を考えるうえでは、これからの習志野市の教育がどうあるべきかという議論が必要不可欠であり、ここには相当の時間を要することもあり、公共施設再生計画第3期の計画としています。



E. 袖ヶ浦、秋津・茜浜、香澄・芝園

（1）人口の動き

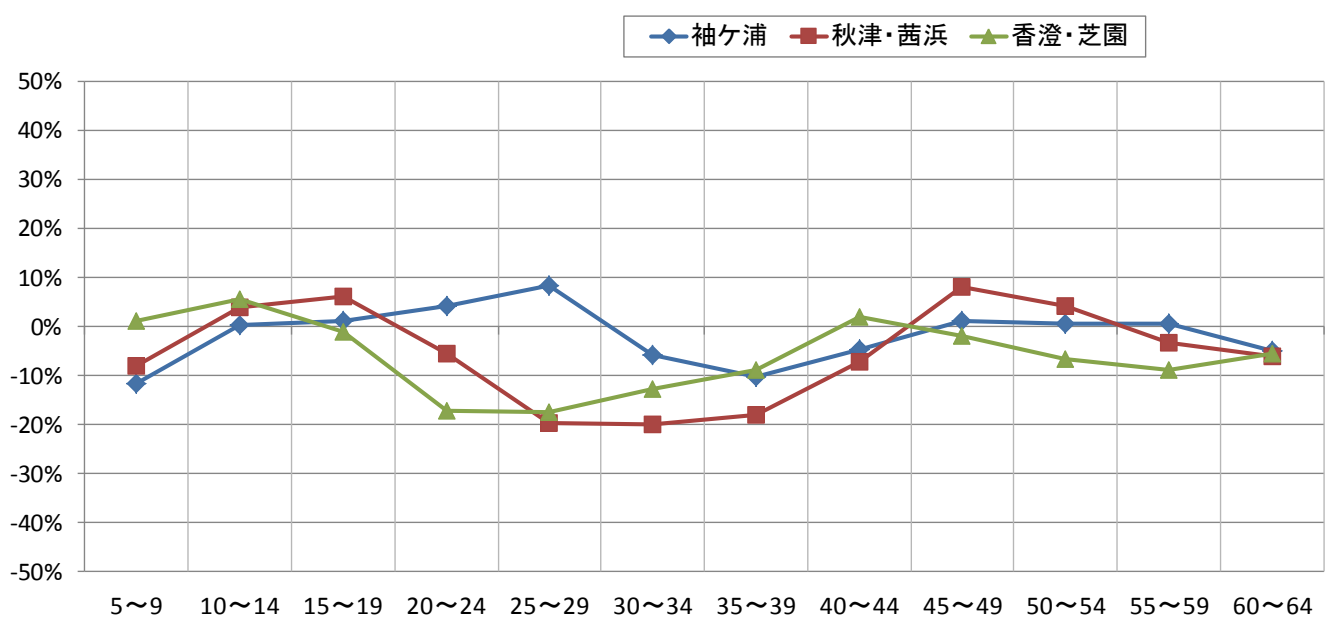
袖ヶ浦、秋津・茜浜、香澄・芝園とも、現在の人口推計においては大きく転入が増加する世代はなく、生産年齢を中心に減少が目立ちます。

袖ヶ浦は、9歳以下の減少割合が大きくなっています。高度経済成長期に造成され、短期間のうちに人口が増加した住宅団地において共通に見られる傾向です。

香澄・芝園は、15歳以上の全ての世代で減少傾向となっています。

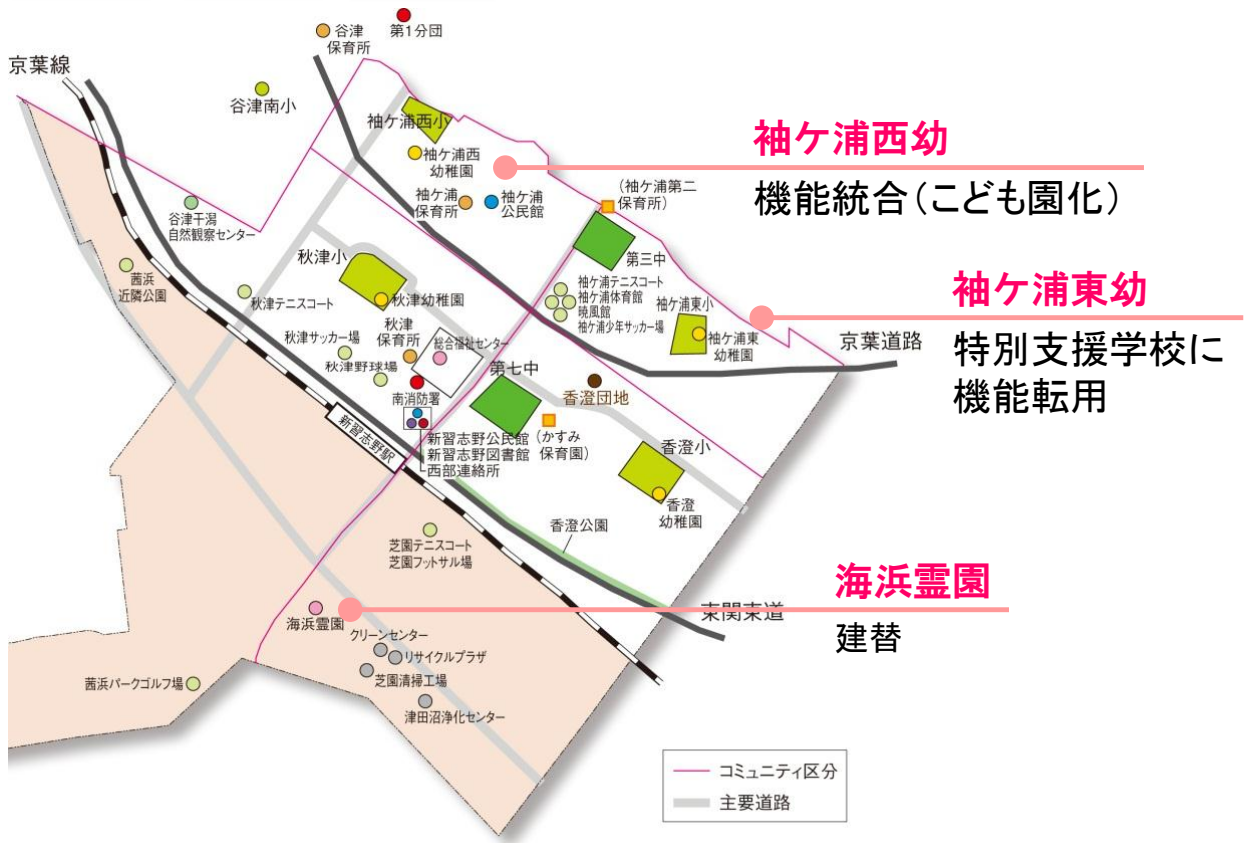
（歳）

	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64
袖ヶ浦	-11.8%	0.2%	1.0%	4.1%	8.2%	-5.7%	-10.3%	-4.6%	1.2%	0.7%	0.5%	-5.1%
秋津・茜浜	-8.1%	3.9%	6.1%	-5.6%	-19.6%	-20.1%	-18.1%	-7.2%	8.1%	4.1%	-3.4%	-6.1%
香澄・芝園	1.1%	5.7%	-1.1%	-17.1%	-17.4%	-12.8%	-8.8%	1.8%	-1.9%	-6.6%	-8.9%	-5.5%



（歳）

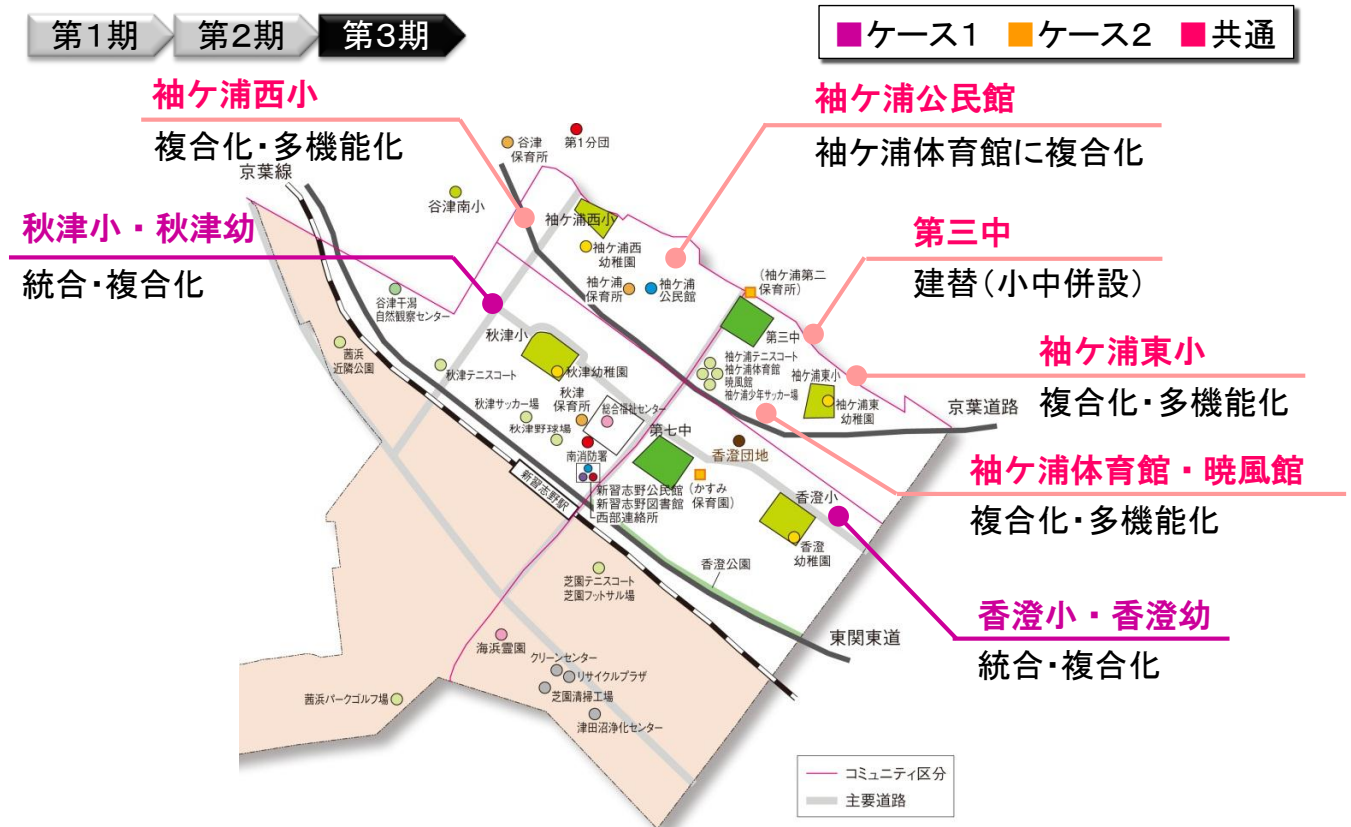
第1期 第2期 第3期



第1期 第2期 第3期

■ ケース1 ■ ケース2 ■ 共通





Pickup

「袖ヶ浦・秋津・香澄地区公共施設再生」の取組

袖ヶ浦地区公共施設再生の取組は、少子化による小学校の機能統合及び中学校の併設をきっかけに、袖ヶ浦スポーツゾーン構想を実現することです。第三中と第七中の統合、あるいは小中併設校とするかが、ケース1とケース2の違いになりますが、いずれの案にしても、袖ヶ浦体育館との多機能化は必須となっています。近隣にそれぞれ小学校用、中学校用、社会教育用にそれぞれ体育館の建物を所有するよりも、一つの建物に集約し、複数のアリーナを備えることで、スペースの効率化、各種大会開催の誘致が可能となるほか、災害時の拠点としても有効となります。

本取組の対象コミュニティは、統計上少子高齢化が、市内の中で顕著に表れている地域であります。機能統合により未利用地となった土地は、開発を行うことにより、新たな市民の転入も見込めることから、一体となって進めていきます。（現在、存在せず、計画上に登場する施設の名称は仮称とする。）



